

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2019年 12月 25 日

事業所名： 放課後等デイサービスえーるきた

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない				
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	4	0	0	プレイルーム・静養室・SST個室に分室している。	20	3	0	0	・することに対しての部屋がありいいです。 ・スペースは十分だが公園のように外遊びもできるスペースがあれば良いと思います。	イベントや行事において、外でのスペース確保を行っていく。	
	2 職員の適切な配置	4	0	0	人員を確保し、勤務体制表を掲示している。	20	1	1	1	注意しながらも気長に見てくれます。	人員確保は出来ているので連携を強化していき、理解を促していく。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	2	2	0	玄関とトイレに手すりを設置した。	17	4	1	1	自分の家のように過ごさせています。	学習等で集中出来るようスペースを区切って特性に応じた児童の配慮を行う。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	4	0	0	洗面所に各児童のタオルを配置し毎日洗濯している(インフルエンザ等対策) また、各所の消毒を行い衛生管理を怠らないよう心がけている。	20	3	0	0	毎日掃除をしているのを見ます。	朝夕の掃除と消毒を引き続き行う。また、定期的に設備点検を怠らないようにする。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	1	2	1	PDCA会議を定期的に行っている。	/	/	/	/	/	/	PDCA会議を2～3ヶ月に一度のペースで行い、職員自身も個別で出来るようにしていき、自覚を向上を促す。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	4	0	0	毎週2回程度の会議または室内研修でスキルアップを行っている。	/	/	/	/	/	/	引き続き行うとともに対外的な研修も参加していく。またその内容を職員にも周知していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	4	0	0	アセスメント表やモニタリングや支援会議でのことや保護者の方のニーズ等をもとに支援計画を作成している。	22	1	0	0	毎回話し合いをしています。	アセスメントを行い、相談支援事業所保護者の方とのモニタリング内や会議において、課題や保護者ニーズを把握確認し支援計画案・書作成している。又中間評価も定期的に行い支援計画に反映させている。具体的支援内容の記載においては事業所の工夫した点(左欄)に記入	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	4	0	0	長期目標・短期目標生活面・社会面・身体面に分けて具体的に支援計画を立てて、総合的支援や身体拘束や独自のクラブ活動SST/特化プログラムについても盛り込んでいる。	23	0	0	0	内容を見て納得しています。	引き続き個別活動(個室SSTや特化プログラム)、集団活動での遊戯療育(クラブ活動や課題遊び)を取り入れ計画に記載していくことで子どもの具体的目標を明確にしていく	
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	4	0	0	個別活動の個室SSTや特化プログラム、集団活動の遊戯療育(クラブ活動や課題遊び)を取り入れ計画の作成をしている。	/	/	/	/	/	/	/

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備										
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	3	1	0	毎年、特別支援学校と会議を行い、利用児童の支援内容の情報共有や共通理解を図っている。また日々送迎児には利用児童の様子を伺っている。						支援内容の共通理解や共有をはかるため必要に応じて会議を増やせるよう検討していく。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	4	0	0	相談支援事業所を通して支援内容を伝える。						引き続き相談支援事業所との引継ぎをしていく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	1	3	0	支援会議にて連携をとっている。また、センター主催の研修に参加させて頂いている。今年度も職員資格取得の受講も行った。						引き続きこれまで以上に専門機関との連携や研修の受講を促進していく。また引き続き、市の連絡協議会へ参加をする。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	3	1	0	児童館での行事参加や地域でのイベント参加を行っている。	3	4	3	13	このことは分かりません。	休日や長期休暇において引き続き地域との交流の機会を作っていく。またえーるたより等で保護者への理解を広げていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	1	3	0	ボランティアの招待をしている。また出前講座の利用をしたり、地域見学や体験を行っている。(塩作り体験等)						引き続き地域イベントの参加やボランティアとの交流を増やしていく。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	4	0	0	契約時に保護者の方と面談し、相談支援事業者間でのサービス計画案等に基づきアセスメントや支援内容を具体的に決め、重要事項説明時には利用者負担等についてもしっかりと事例を出し説明する。	23	0	0	0	毎回書面で先に連絡してもらっています。	引き続き書面や口頭での説明をしっかりとっていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	4	0	0	支援計画案で確認し支援計画書を作成し確認してもらう。保護者と対面し内容を説明している。	23	0	0	0	時間をとってしてくれています。	引き続き計画案・書を説明して確認を怠らないようにしていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	4	0	0	保護者お茶会を2ヶ月に一度開き、お茶会でのペアレントトレーニング等の支援を予定している。	18	5	0	0		引き続きお茶会でのペアレントトレーニングの支援を心がけ、えーる機関誌の中でコーナーを設けていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
保護者への説明責任・連携支援 (続き)	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	4	0	0	20	3	0	0	活動中にあった良いことも悪いことも伝えてくれているので助かります。	保護者の方に合わせた連絡法を考えて行く。また、支援会議の時間帯により参加出来ない事があるので時間相談をしていく。保護者の方においては毎月の希望表に懇談希望欄を設け相談しやすい環境を作っていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	4	0	0	22	1	0	0	なんでも相談に乗ってくれます。忘れ物など子どもが小さいことをすごく気にした時も対応をきちんと下さるのですごく助かります。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	4	0	0	17	0	0	6	お茶会など参加させてもらって意見交換をしたり、先生の話の聞いたりしています。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	4	0	0	19	0	0	4	気にすることがあるときはすぐ連絡するのですが、対応してくれています。	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	4	0	0	21	1	0	1		
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	4	0	0	20	1	0	2	毎月活動内容のプリントを楽しみに見えています。写真もありがたいです。	
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	4	0	0	20	0	0	3	前もって聞いてくれたり顔を隠したりされています。(機関誌)	引き続きしっかりとした取り扱いを行っていく。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	4	0	0	19	2	0	2	プリントはきちんと頂いています。最近の災害の状況をみると保護側の対応をもっと細かくしないといけないのではと思います。	えーるたより等にて各マニュアルの設置場所や内容について定期的にお知らせしていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	4	0	0	22	0	0	1	毎月のようにしてくれています。2ヶ月に1回くらい参加させてもらっています。	引き続き行って行く。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応 (続き)	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	4	0	0	週2回程度の研修において定期的に行い、事業所外の研修にも参加している。	/	/	/	/		事業所外での研修を増やして行く。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	4	0	0	放課後等デイサービス支援計画書において記載し、活動プログラムまたは記録に記載している。	/	/	/	/		引き続き徹底していく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	/	/	/	アセスメント時に確認事項に記載している。	/	/	/	/		引き続き確認していく。場合により医師の診断書で詳しく確認対応する。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	4	0	0	事例集を作成し、事業所(2カ所)間で合わせて対策を話し合っている。	/	/	/	/		引き続き事例集を作成し対策を徹底していく。